

三十四

I-0340

0000

滿洲國一般
(團體)

第一課

昭和七年四月十五日接受

外務省第九三號

昭和七年四月十四日

警視總監大野綠一郎

國務院

內務大臣鈴木喜三郎殿

外務大臣芳澤謙吉殿

文部大臣鳩山一郎殿

各府縣知事殿

關東朝鮮各警務局長殿

滿蒙學校設立計畫ニ關スル件

一設立經營者

住所 東京市麹町區三番町六九

事務所 神田區三崎町三ノ八八 宇野ビル一階

化學藥品商

末次虎太郎

明治十一年八月生

一學校長

住所 府下世田谷町下北澤八一

後備役陸軍中將 山田陸槌

右兩名將來滿蒙ニ移住諸種ノ企業ヲ試ミ彼ノ地ニ新天地ヲ開拓セントスル者ニ對シ滿蒙ニ於ケル天然ノ資源狀態並ニ文物制度習慣言語ノ全般ニ涉リ概括的知識ヲ與ヘ認

識不足ニ依ル過誤ヲ減少スルト共ニ將來在滿同胞ノ中堅ト
ナリ多数邦人ヲ指導誘掖シ邦人發展ノ基礎ヲ確立進
ンデ彼我共存共榮ノ實ヲ擧グルニ足ルベキ人物養成ノ學校ヲ
設立スルハ刻下ノ急務ナリトシ約壹ヶ月前ヨリ肩書地宇野
ビル内ニ事務所ヲ設ケ滿蒙學校ナルモノヲ設立スベク計畫シ
目下東京府廳ニ對シ私立學校設立認可申請中ナルガ最
近顧問講師學科目學則等ヲ決定セル為メ別添印刷物ノ
如キ入學案内學則入學願書ヲ作製昨十三日ヨリ滿鐵東
京支社參謀本部陸軍省外國語學校東亞經濟調查局内
ノ各關係者其ノ他ニ向ケ發送通知ヲ爲シツアリ、
教場ハ宇野ビル三四階ヲ使用シ晝夜ヲ通ジ約四百名ノ

生徒ヲ收容スル豫定ニテ現在一階ニ受付ヲ設ケ事務ヲ處
理シツアリ、東京府知事ヨリ認可アリ次第學生ノ募集ニ着
手シ來ルニ十一日頃開校授業開始ノ豫定ナリ

因ニ東京府學務課ニ於テハ設立者及學校長ノ身元其
ノ他參考事項ヲ審査ノ上認可ヲ決定スル模様ナリ、

右及申(通)報候

滿蒙學校學則

第一章 總則

第一條 本校ハ中等程度以上ノ教養ヲ了ヘタル者ニ新滿洲國ノ全般ニ渉ル智識ヲ授ケ將來滿蒙ノ地ニ於テ中堅トナリテ活動シ得ベキ人材ヲ養成セントスルヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ本科及夜學科ヲ置キ各第一部及第二部ニ別ツ、修業期間ハ各六ヶ月トス

第二章 學科目及教授時數

第三條 本科ノ學科目ハ精神訓練、語學、地理、歴史、交通、國法、軍事、地質、礦物、農業、工業、經濟、商業、衛生、時事(國際)トス

第一四條

本校ノ學科目及程度並ニ其ノ每週教授時數左ノ如シ

[illegible]

第三章 學年、休業日

第五條 本校ノ學年ハ各科共
四月十一日ニ開始スルモノハ其年九月二十日ニ終ル
十月十一日ニ開始スルモノハ其翌年三月二十日ニ終ル

第六條

一、日曜日
一、大祭日、祝日

第四章 入學、退學、休學

第七條 入學期ハ毎學年ノ始メトス、但シ缺員アル場合ハ隨時入學ヲ許スコトアルベシ

第八條 入學志願者ノ資格ハ本科及夜學科共左ノ如シ

第一部 大學及專門學校卒業業者又、同呈請以

第一部 大學及専門學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力アリト認定シタル者
第二部 中等學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力アリト認定シタル者

身本虽建、品行方正ニシテ前代ノ資各ヲ有スル者ハ無式檢ニテ入學

第九條 身體强健、品行方正ニシテ前記ノ資格ヲ有スル者ハ無試験ニテ入學ヲ許可ス

第十條 入學志願者ハ本校所定ノ用紙ニ記載シタル入學願書ヲ差出スベシ

入學ノ午可ヲ尋タレ者ハ直ニ呆登人車醫ノ上本交所定ノ在學登書

第十一條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ直ニ保證人連署ノ上本校所定ノ在學證書ニ入學金ヲ添ヘテ差出スベシ

呆登人の學生ノ父兄又ハ東京府内ニ居住シ一家計ヲ立ツレ

第十二條 保證人ハ學生ノ父兄又ハ東京府内ニ居住シ一家計ヲ立ツル成年者ニシテ學生在學中ノ一切ノ事件ニツキ完全ニ責務ヲ盡シ得ベキ者タルベシ

保登人死亡又ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ新ニ保登

第十三條 保證人死亡又ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ
ベシ

學生又ハ保證人ニ於テ轉居改印又ハ氏名ヲ變更シタル時ハ其旨直ニ届

第十四條 學生又ハ保證人ニ於テ轉居改印又ハ氏名ヲ變更シタル時ハ其旨直ニ届出ヅベシ

第十五條 退學又ハ休學セントスル者ハ其事由ヲ具シ保證人連署ノ上届出ヅベシ

左ノ各號ノ
ニ該當スル者ハ退學ヲ命ズ

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ズ
一、正當ノ理由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出缺常ナラザル者

正當ノ理由ナクシテ授業料滞納三十日ニ及ブ者

一、正當ノ理由ナクシテ授業料滞納三十日ニ

第十七條 全課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 賞

第十八條 品行方正ニシテ學力優等ノ者ニハ賞狀ヲ授與スルコトアルベシ

交見命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ學生ノ本分ニ背反スル者ハ之

第十九條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ學生ノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

第二十條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飾謹慎停學及放校トス

633

第七章 學 費

大學之謂可謂得之者乎

第二十二條 授業料ハ本科(第一部、第二部共)金四拾八圓夜學科(第一部、第二部共)金參拾六圓トス

學費ヲ納メタルモノニハ聽講券ヲ交付ス、但シ該券ノ記載事項ハ必ず熟讀遵守スベシ

第二章 學科目及教授時數

本校ノ學科目及程度並ニ其ノ毎週教授時數左ノ如シ

本校ノ學科目及程度並ニ其ノ毎週教授時數左ノ如シ

本校ノ學科目及程度並ニ其ノ毎週教授時數左ノ如シ

學科目		時數及課程		時數		夜學科	
精神訓練	語學	四	支那語、蒙古語、 初歩	四	支那語、 初歩	四	支那語、 初歩
地理	歷史	一		一		一	
交通	通法	二		二		二	
軍國	軍事	一		一		一	
地質礦物	地質礦物	一		一		一	
農業	農業	二		二		二	
工業	工業	二		二		二	
經濟	經濟	一		一		一	
商業	商業	一		一		一	
衛生	衛生	一		一		一	
時事(國際)	時事(國際)	一		一		一	
實地見學	實地見學	四		四		四	
合計	合計	二四		二四		二四	

第三章 學年、休業日

本校ノ學年ハ各科共

四月十一日ニ開始スルモノハ其年九月二十日ニ終ル
十月十一日ニ開始スルモノハ其翌年三月二十日ニ終ル

本科八午後一時始業午後五時終業

休業日左ノ如シ

一、日曜日
一、大祭日、祝日

第四章 入學、退學、休學

入學期ハ毎學年ノ始メトス、但シ缺員アル場合ハ隨時入學ヲ許スコトアルベシ
入學志願者ノ資格ハ本科及夜學科共左ノ如シ

第一部 大學及專門學校卒業者又ハ同程度以

第一部 大學及專門學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力アリト認定シタル者
第二部 中等學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力アリト認定シタル者
第三部 身體強健、品行方正ニシテ前記ノ資格ヲ有スル者ハ無試験ニテ入學ヲ許可スル

入學志願者ハ本校所定ノ用紙ニ記載シタル入學願書ヲ差出スベシ

入學ノ許可ヲ得タル者ハ直ニ保證人連署ノ上本校所定ノ在學證書ニ入學金ヲ添ヘテ差
出スベシ

保證人ハ學生ノ父兄又ハ東京府内ニ居住シ一家計ヲ立ツル成年者ニシテ學生在學中ノ

一切ノ事件ニツキ完全ニ責務ヲ盡シ得ベキ者タルベシ
保證人死亡又ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ差出ス

٢٧٤

學生又ハ保證人ニ於テ轉居改印又ハ氏名ヲ變更シタル時ハ其旨直ニ届出ヅベシ
退學又ハ休學セントスル者ハ其事由ヲ具シ保證人連署ノ上届出ヅベシ

左ノ各號ノ一二該當スル者ハ退學ヲ命ズ

一、正當ノ理由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出缺常ナラザル者
一、正當ノ理由ナクシテ授業料滞納三十日ニ及ブ者

第五章 卒業

全課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 賞罰

品行方正ニシテ學力優等ノ者ニハ賞狀ヲ授與スルコトアルベシ

第十九條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ學生ノ本分ニ背戾スル者ハ之ヲ懲戒ス

第二十條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒節謹慎停學及放校トス

第七章 學 校

入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學金五圓ヲ納ムベシ
授業料ハ本科(第一部、第二部共)金四拾八圓夜

但シ月々分納スル者ハ本科ハ金八圓、夜學科ハ金六圓ノ割合ヲ以テ各月五日迄ニ納入スベシ期日内ニ納入セザルトキハ一時其ノ出席ヲ停止スルコトアルベシ

第二十三條 學費ヲ納メタルモノニハ聽講券ヲ交付ス、但シ該券ノ記載事項ハ必ズ熟讀遵守スベシ

休學ノ許可ヲ受ケ全月出席セザル者ハ其月ノ授業料ヲ免除ス
既納ノ學費ハ事由ノ如何ヲ問ハズ一切還付セズ

附則 本則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ學校長細則ヲ以テ之ヲ定ム

本則ハ昭和七年四月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

東京市神田區三崎町三丁目百八十八番地

滿蒙學校

電話九段(33)一五六七番

滿蒙學校入學案内

〔設立ノ趣旨〕

今回成立セル滿蒙學校ハ面積ニ於テ實ニ我ガ全版國ノ二倍、而カ其人口ハ半數ニモ足ラザル現狀ニアリテ、土地ハ天然資源ニ富ミ米、粟、小麥、大豆、肉類、綿花、羊毛ノ如キ殊ニ石炭及鐵ノ莫大ナル埋藏量ハ何レモ皆我同胞ノ來リ開發センコトヲ待ナツ、アリ。而シテ今ヤ滿州ニ於ケル其等ノ凡テハ勿論、其文物、制度、習慣、言語等ノ全般ニ涉リ、之ガ正確ナル智識ヲ得ルコトハ獨リ彼ノ地ニ渡航セントスル者ノ爲ノミナラズ、實ニ彼ノ地ニ企業シ又ハ彼我ノ將來ヲ念トスル者ノ爲ニハ最重要且ツ急務ナリトス。而シテ將來滿蒙ノ地ニ於テ在滿同胞ノ中堅トナリ、又ハ多數邦人ヲ指導誘接シ將來ニ於ケル邦人發展ノ基礎ヲ確立スルト共ニ、進ンデ眞ニ彼我共存共榮ノ實ヲ舉グルコトハ現下ノ最大要緊事トス。茲ニ於テカ本校ハ其急ニ應ゼントシテ設立セラレタルモノニシテ、之等志アルノ士ニ滿蒙ノ全般ニ涉ル正確ナル智識ヲ授ケ兼テ其就職又ハ獨立ハシテ便ラシク與ヘ、將來滿蒙ノ地ニ於テ中ノトナリ活動シ得ベキ人材ヲ養成シ、聊カ國家將來ノ爲ニ貢獻センコトヲ期スルモノナリ。

〔本校ノ特色〕

- 一、本校顧問、校長及教授ハ何レモ滿蒙新國家ノ成立ニ密接ナル關係ヲ有セラル、知名ノ士ニシテ滿蒙ノ關スル多年ノ蘊蓄ト實際ノ體驗トヲ講セラレコト
- 二、短期間ニ新滿洲國ノ全般ニ涉リ正確ナル認識ヲ與フルコト
- 三、軍部當局並ニ滿蒙新國家ノ要路ニ諳解アルコト
- 四、滿蒙ノ地ニ就職又ハ獨立企業ノ便宜ヲ與ヘ充分ノ後援ヲナスコト
- 五、本校經營者ハ既ニ滿蒙ノ地ニ企業計畫中ナルヲ以テ、將來其レガ成立ノ曉ハ同事業ニ參加ノ優先權ヲ與フルコト

一、募集人員

本科生 第一部 百名 夜學科生 第一部 百名
第二部 百名 第二部 百名

一、修業期間

本科 六ヶ月 夜學科 六ヶ月

一、入學資格

- 一、入學志願者ノ資格ハ本科及夜學科共左ノ如シ
第一部 大學及專門學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力ヲ有スルト認定スル者
第二部 中等學校卒業者又ハ同程度以上ノ學力ヲ有スルト認定スル者
- 一、身體強健、品行方正ニシテ前記ノ資格ヲ有スル者ハ無試験ニテ入學ヲ許可ス

一、所要書類及入學金

- 一、入學願書及履歷書(用紙ハ本校ヨリ交付ス)
- 一、卒業證明書及成績表又ハ之ニ代ルベキモノ
- 一、入學ノ許可ヲ受ケタル者ハ直ニ保證人連署ノ在學證書(用紙ハ本校ヨリ交付ス)ニ入學金五圓ヲ添ヘ差出スベシ

一、出願期日

四月二十日迄

課目

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織及國法

軍事學

歷史學

經濟學

地質學

衛生學

農業學

工業學

商業學

社會學

政治學

法律學

醫學

農學

林學

獸醫學

水產學

漁業學

畜産學

園藝學

造園學

農業學

工業學

商業學

社會學

精神訓練

滿洲國組織

入學願書

注意（氏名ニ振假名ヲ附スヘシ）

本籍 縣 府 郡 市 區 町 村 番地

現住所

戸主

弟男

戸主職業

（氏名）

年 月 日生

私儀今般御校へ入學志望ニ付御銓衡ノ上御許可相成度書類ヲ具シ
此段及御願候

右

昭和 年 月 日 （氏名印）

滿蒙學校長 山田陸槌殿

履歷書

願書提出ニ就テノ注意

手 札 形 寫 眞
添 付

一、添付スベキ書類

（イ）卒業證明書若クハ修了證明書

但シ卒業若クハ修了證書ハ寫ヲ以テ代用スルコトヲ得此場合ニハ共ニ證書ノ正本ヲ

提出シ係員ノ閲覧ヲ受クルコト

（ロ）戸籍抄本（戸主及本人ニ關スル分）

二、入學願書提出後現住所異動ノ際ハ速ニ通報スルコト

三、入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ其ノ日ヨリ七日以内ニ在學證書（本學ヨリ交付ス）ニ夫

ハ記入關印ヲナシ入學金及授業料並ニ學生會費等ヲ添ヘ提出スルコト

滿洲國（國体）

昭和八年

特外鮮外第三八〇號 第三號

昭和八年貳月廿參日 受

奉 詔

昭和八年二月十八日

福岡縣知事

小栗一雄

奉

内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿
指定廳府縣長官殿

集團交易團一行渡滿ニ関スル件

本籍熊本縣八代町平河原所

滿蒙學校交易團々長

古賀弘人

外十七名

右ハ二月十日午前八時神戸ヨリ門司入港今日正午
大連ニ向ケ出帆シタル大阪商船「うら」丸ニテ渡滿セル

モノナルカ團長古賀弘人ハ船中本縣檢索員ニ

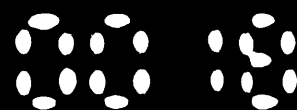
対シ尤ノ如ク「諸レリ

右友申（通）報候也

記

滿蒙學校ハ滿洲國ノ建設ヲ期シ別紙ノ主意ニ依リ
陸軍中將山田陸樵氏ヲ校長トシテ昨春開校セラレ
タルモノヲ滿蒙學校卒業生ハ過般來滿蒙第一線
於テ種々活躍中ナルヲ今回ハ從來ノ夫レト趣ヲ異ニシタ
ル滿蒙南端ノタメニ日滿貿易ノ「ト」フ「マ」切ルヘク邦
人僅ク「地」ヲ送ヒ渡滿スルモノナルカ一行二十五名ノ卒業
生ハ全部中産階級以テ思想最モ鞏固者ノミニテ漸次

第三期第三期卒業生中眉目秀麗者ヲ追参セシ
メ交通團ヲ組織與地侵入ノ計画ナルモ一行ハ數日滯連次
回卒業生(三月十日頃)ノ渡滿ヲ待テ之レト滯同以テ滿
鉄希望ノ地ニテ商務擴張ノ任ニ當ルモテアル云々



満蒙の开发策に關し、一は蠶桑の要更になく要
路當局の策尤も然る可き所と存じ、又只遺
憾なる事トは其の部分的には随分認識の不足
民情の錯覺を幾多發見するのであります
第一目下の輿論たる支那労働者に對して勞
賃安臂力對抗は日本人に於て不可抗力の如く
考へら小て居ります、又實際は決して左様では
なく寧ろ日本人の消費過多過が其の原因である事
が發見せら小す、又現今農業移民が奨励さ
れ居ります、其の主目は国防第一である可きに移
民其の者の權益にカサ多大の希望を懸けてお發し
先地に着いて期待の思はざるに失望する等、因縁幾
百萬を賭したる満蒙の收穫としては實に寒心すべ
き結果であります

私等學校は種々の方面から研究し、一に結果満
蒙の發展は商工と農業は並行すべしとの見地か

ら其の第一着々として、一は自らの團體的行
動を組織し、團の威力を以て奥地開發を志し
て、又發展する農業者を助け、一毛作又は冬眠
期の閑散を、商工に依りて補はんと志すものであり
ます、故に本回は第一期卒業生三百八十名中
二十五名の決定的希望を募り、其の下準備とし
て渡滿し、漸次第二期(本年三月卒)第三期と
卒業生中優秀者を追参せしめ、本年一度は
五百名(専門家の意見は三百名なるも安全を
期するのであります)かくして目下邦人の手によ
りては開發不可能と小たる奥地交易は勿論
國法の許す範圍に於て國境を越へ更に深く侵
入、商勢拡張に任せんと志すものであります
先徹星樓会士佐耕農團等實に尊き実例を
示さ小す、一は今日私等の計畫は更に慎重を要
します、即ち體驗と自信とより發散する勇氣

を全目票に集中す可きやあります。目票とは平和
裡に於ける商勢の擴張であります。其の手段は移
動的元營を行く持久的商陣の敷行であります。
斯くして得たる收穫は支那人をして日本商品
をより早く認識せしめ、需要を喚起せしむる事
は勿論、日本商人の勇敢にして正直なる事を知
らしむる事であります。弱冠にして微力多くの期
待を得る事は不可能かも知れませぬが、しかし其の
精神の結束は過去五ヶ月間の團體生活に於て
一寸の揺ぎも見せず御覽の通り粗衣粗食移
動舎を運んで原野に屯營し、所謂原始生活に甘ん
じて行く勇敢な雄々しさ大に敬して見ても明
らかであります。願はくば皇國の前途に暗雲た
よふ今日、赤誠を込めて若人の事を諸君の大政の
名と愛國の至誠と依つて御送り下さる事を希
ふ次第であります。

昭和八年 月 日

東京市神田三崎町

後援者

滿蒙學友會
陸軍中將

山田陸雄

滿蒙學友會第一期卒業生
全勸業團交易團

團長

古賀弘人

大政市民各位

滿洲國一般(周年)

昭和八年四月一日 警視總監 藤沼庄平

昭和八年四月四日 接受

8.4.26

通商局

内務大臣 山本達雄殿
外務大臣 内田康哉殿
拓務大臣 永井柳太郎殿
神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、山口、福岡、
關東、朝鮮各警務局長殿

文化事業部

下河

滿蒙學校卒業生企劃集團交易團ノ動靜
所在、小石川區原町十二番地大學寮内

滿蒙學校卒業生企劃集團交易團

團長 古賀弘人

當四十二年

右交易團ノ動靜ニ関シ三月九日関機高第二七〇二
號及十七日特外第五八號ヲ以テ關東(貴)廳及山口
(貴)縣ヨリ通報アリタル處、本團ハ昨年八月二十一日
滿蒙學校卒業生ニ對シ「拓殖精神ノ指導宣揚、滿
蒙ノ實業的開發、集團交易ノ訓練、團員職業ノ
指導開拓」(集團交易團規約第二條)ヲ目的トシテ右
古賀ヲ中心ニ組織シ、當時二十一名ノ入團者アリ、古
賀團長ハ十一月二十四日團員ヲ引率シテ東京發、大阪
ニ赴キ西宮市今津ニ六幕屯宿中、同地ニ於テ三名ノ
加入者ヲ見、後六名ノ脱退者ヲ生シ、残ル十八名ハ去ル
二月十一日大阪發大連ニ至リ同地日出町南山麓ニ屯宿
内地ト連絡ヲ執リ、大阪、神戸方面ノ商店ヨリ滿洲興地

ニ對スル日本商品紹介ニ要スル商品ノ寄贈ヲ受ケニ
月末ヨリ南滿鉄沿線、吉林、哈爾濱方面ニ旅行宣
傳シ三月初旬大連ノ屯營ニ飯營シタルカ古賀團長
ノミハ去ルニ十五日滿蒙學校卒業式ニ参列シ、第二回
本團入團者約十五名ノ詮衡ヲ爲シ再ヒ渡連スル目的
ニテ去月十八日入京、目下入團者詮衡中ナルカ之カ決定
次第古賀ハ近ク團員ヲ引率渡連スル趣キナリ動靜
注意中

因ニ本團ハ神田區三崎町三丁目所在滿蒙學校長山
田陸樵ノ後援ヲ受ケ交易ト共ニ集團後援ノ性能
「テスト」ニ供スル趣キナルカ古賀團長ノ畧歴次ノ
如シ

本籍、熊本縣上益城郡秋津村字秋田

住所、東京市石川區原町十二番地

大正四年熊本師團ヨリ支那漢口駐屯軍(上等兵)ニ
参加渡支シ退役後日本空素熊本工場ニ奉職、大正
八年「三角バアル」特許ヲ得テ建築業トシテ大阪
方面ニ活躍、昨年八月滿蒙學校ノ建築講座ヲ担当
シタル關係上、本交易團ニ参加團長ニ推舉サレタル
モノナリ

右及申(通)報候

副

外務省第七七〇號

昭和八年四月四日 接受

昭和八年四月一日 警視總監 藤沼庄平

山商局

内務大臣 山本達雄殿
 外務大臣 内田康哉殿
 拓務大臣 永井柳太郎殿
神奈川、愛知、京都、大阪、兵庫、山口、福岡
 各府縣知事殿
 關東朝鮮各警務局長殿

文化事業部

滿蒙學校卒業生企劃集團交易團ノ動靜
 所在 小石川區原町十二番地大學寮内

滿蒙學校卒業生企劃集團交易團

團長 古賀弘人

當四十二年

右交易團ノ動靜ニ関シ三月九日關機高第二七〇二號及十七日特外第五二八號ヲ以テ關東(貴)廳及山口(貴)縣ヨリ通報アリタル處、本團ハ昨年八月二十一日滿蒙學校卒業生ニ對シテ、拓殖精神ノ指導宣揚、滿蒙ノ實業的開發、集團交易ノ訓練、團員職業ノ指導開拓(集團交易團規約第二條)ヲ目的トシテ右古賀ヲ中心ニ組織シ、當時二十一名ノ入團者アリ、古賀團長ハ十一月二十四日團員ヲ引率シテ東京發、大阪ニ赴キ西宮市今津ニ天幕屯宿中、同地ニ於テ三名ノ加入者ヲ見、後六名ノ脱退者ヲ生シ、残ル十八名ハ去ル二月十一日大阪發大連ニ至リ同地日出町南山麓ニ屯宿内地ト車終ヲ執リ、大阪、神戸方面ノ商店ヨリ滿洲興地

ニ對スル日本商品紹介ニ要スル商品ノ寄贈ヲ受ケニ
月末ヨリ南滿鉄沿線、吉林、哈爾濱方面ニ旅行宣
傳シ三月初旬大連ノ屯營ニ飯館シタルカ古賀團長
ノミハ可去レ二十五日滿蒙學校卒業式ニ参列シ、第二回
本團入團者約十五名ノ詮衡ヲ爲シ再ヒ渡連スル目的
ニテ去月十八日入京、目下入團者詮衡中ナルカ之カ決定
次第古賀ハ近ク團員ヲ引率渡連スル趣キナリ動靜
注意中

因ニ本團ハ神田區三崎町三丁目所在滿蒙學校長山
田陸桂ノ後援ヲ受ケ交易ト共ニ集團移反ノ性能
「テスト」ニ供スル趣キナルカ古賀團長ノ恩歴次ノ
如シ

本籍、熊本縣上益城郡秋津村字秋田
住所、東京市石川區原町十二番地

大正四年熊本師團ヨリ支那漢口駐屯軍(上等兵)ニ
参加渡支シ退役後日本陸軍能本工場ニ奉職、大正
八年「三角バアル」特許ヲ得テ建築業トシテ大阪
方面ニ活躍、昨年八月滿蒙學校ノ建築講座ヲ担当
シタル關係上、本交易團ニ参加團長ニ推舉サレタル
モノナリ

右及申(通)報候